国内における地球温暖化対策のための排出削減・吸収量認証制度（Ｊ－クレジット制度）実施規程（プロジェクト実施者向け）等に対する意見とＪ－クレジット制度運営委員会の考え方

１　実施期間

令和元年 10 月４日（金）～10 月 17 日（木）

２　意見提出件数（者数）（提出順）

合計６件（者）

【個人：６者】

該当箇所	提出された御意見	運営委員会の考え方
該当箇所なし	CO2 の削減の為には、原子力発電を主力で導入するべき。	御意見の趣旨は今後の参考とさせていただきます。
該当箇所なし	J-クレジットについては、創出・活用が国内に限定されているが、国家から地球規模に拡大することが必要。	御意見の趣旨は今後の参考とさせていただきます。
該当箇所なし	現在の地球温暖化が人間のせいなのか、地球のサイクルなのか現時点ではわからないが、無駄なエネルギーの消費をやめ、地球にやさしい生活をすることは大いに賛成である。 一方で、「人間のせいで地球温暖化」と主張しながら、二酸化炭素の排出量を削減せずに金で削減したことにするJクレジット制度や世界規模の排出権取引（CERクレジット）などの手数料ビジネスには大反対である。 J クレジットは日本の金融機関のために考えた日本だけの制度であるから即刻廃止したうえで、日本政府は世界に向かって、世界規模の排出権取引の廃止を訴え、エネルギーの消費量を減らすことで二酸化炭素を削減しようと呼びかけてほしい。	御意見の趣旨は今後の参考とさせていただきます。
該当箇所なし	EU 各国に倣って、再生可能エネルギー、とりわけ太陽光発電への転換を大至急進めるべき。	御意見の趣旨は今後の参考とさせていただきます。

このほか、本意見募集とは直接関係のないご意見を２件承りました。

以上